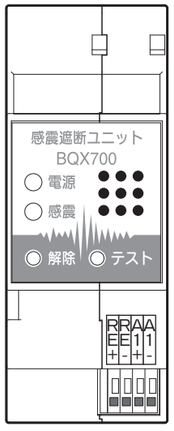
Panasonic® 保管用

感震遮断ユニット

横形住宅分電盤用　BQX700
縦形住宅分電盤用　BQX701

施工説明書



●施工前に必ずこの説明書を
お読みのうえ、
正しく施工してください。

●施工は電気工事士の有資格者が
行ってください。

●この商品は弊社製住宅分電盤
コンパクト21シリーズ専用です。
他社製住宅分電盤には
取付けないでください。

●施工後は下のお問い合わせ先の
欄に連絡先などをご記入のうえ、
この説明書を必ず取扱者様に、
お渡しください。

【ご相談窓口における個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容を録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。
なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。
個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

お問い合わせ先

施工会社

電話　（　　）　　－

パナソニック株式会社
パナソニック エコソリューションズ電路株式会社
〒571-8686　大阪府門真市門真 1048 番地　TEL（代表）06-6908-1131

©Panasonic Corporation 2012

8M6 946 005
PC0410-10112

安全上のご注意

⚠警告

必ず守る
●施工・点検・電池交換時には
主幹ブレーカおよび上位遮断器を
必ずOFFにする。
～電源が供給されたままの施工は
感電の原因になります～

禁止
●分解や改造をしない
～感電・故障の原因になります～

⚠注意

必ず守る
●速結端子への接続は、適正な電線を
奥まで確実に差込む。
～不適正な電線の使用や差込みが不十分な場合、
誤動作の原因になります～

禁止
●弱電回路や端子間の絶縁抵抗測定は
しない。
～機器の故障による感電・発熱・発火の
原因になります～

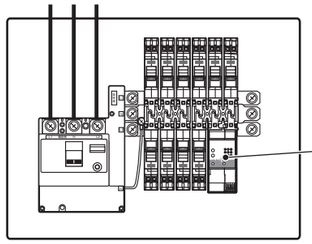
～施工上のご注意～

- この商品は指定する方向での設置が必要となります。
（正しい方向で設置しないと内部感震センサが誤動作します）
「施工時の設置方向」の項を参照し、正しく設置ください。
- この商品は主幹ブレーカが漏電ブレーカではない場合、
強制遮断機能が動作しません。(高速形30 mA感度専用)
必ず漏電ブレーカとセットでご使用ください。

施工時の設置方向

本商品は指定の方向に設置しないと正しく動作しません。
(内部感震センサが誤動作します)
下記を参考に正しい方向に設置してください。

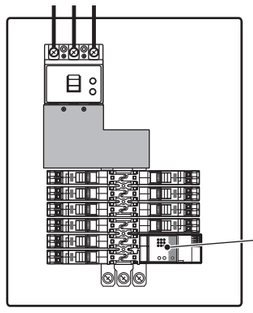
横形住宅分電盤の場合



感震遮断ユニットを
住宅分電盤の下段側に
設置してください。

感震遮断ユニット
適合品番：BQX 700

縦形住宅分電盤の場合

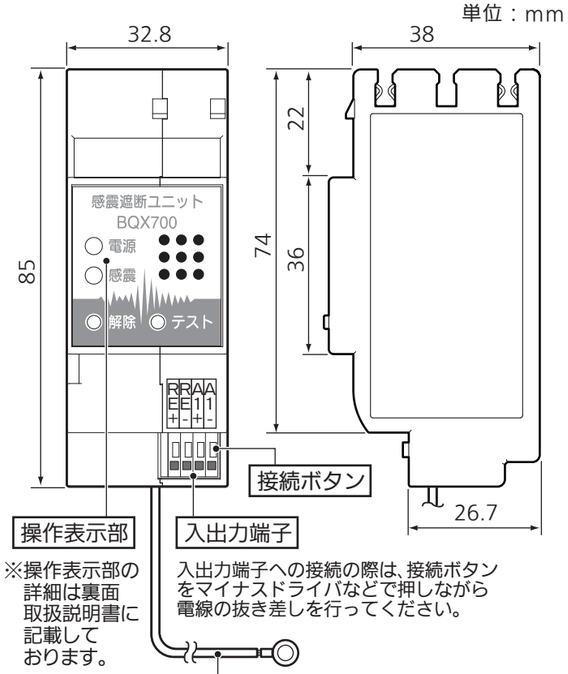


感震遮断ユニットを
住宅分電盤の右列側に
設置してください。

感震遮断ユニット
適合品番：BQX701

寸法図・各部のなまえ

単位：mm



※操作表示部の詳細は裏面取扱説明書に記載しております。

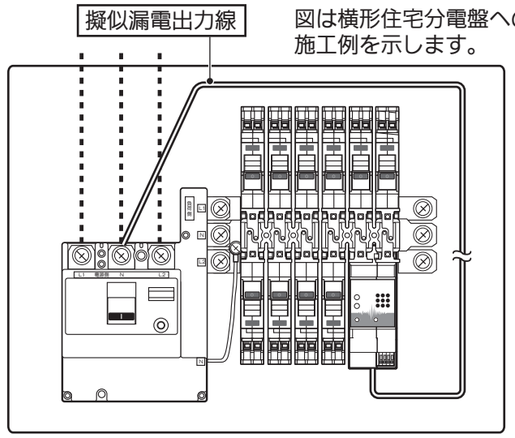
入出力端子への接続の際は、接続ボタンをマイナスドライバなどで押しながら電線の抜き差しを行ってください。

付属品
- 施工・取扱説明書(本書)
- 電池交換注意シール

配線のしかた

住宅分電盤内の配線のしかた

下図を参考の上、擬似漏電出力線を主幹漏電ブレーカの
一次側(N相)に接続してください。



図は横形住宅分電盤への
施工例を示します。

おしらせユニット(別売)との配線のしかた

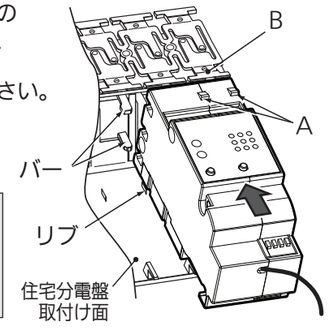
入出力端子(A1＋－、RE＋－)をおしらせユニットの端子と
それぞれ接続ください。
(適用電線：AE線またはCPEV線　φ0.65　配線長最大20 m)
※詳細はおしらせユニットの施工・取扱説明書をご参照ください。

住宅分電盤への取付け・取外し

取付け

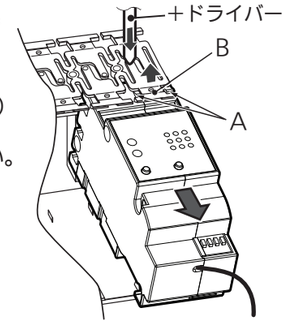
●住宅分電盤取付け面の
リブに商品を合わせ、
バーに対して水平に
奥まで差込んでください。
(B部が商品のA部を
乗り越えるまで
差込む)

＊取付け後は、付属の
電池交換注意シールを
感震遮断ユニット付近
の見やすい位置に貼って
ください。



取外し

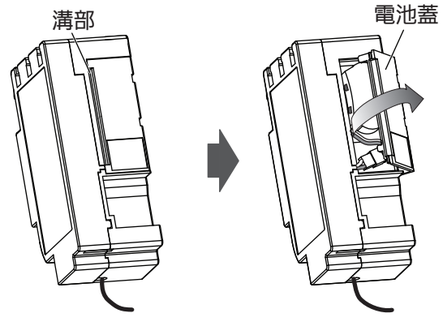
●図の位置を＋ドライバーで
押してください。
(B部が商品のA部に
乗り上げるまで押し込む)
その状態で商品を
水平に引き外してください。



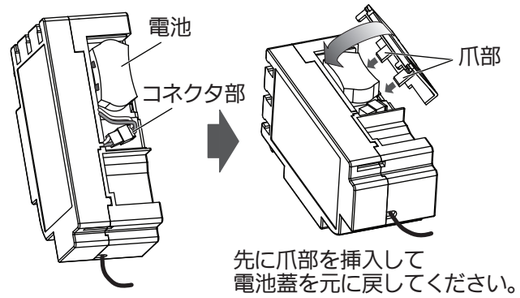
電池の交換方法

【電池の交換は、主幹ブレーカおよび
上位遮断器をOFFにした後、擬似漏電出力線を
主幹ブレーカから外した状態で行ってください。】

①商品裏面の電池蓋を矢印の方向に
持ち上げてください。



②コネクタ部を外し新しい電池(品番:BQX95)と
交換した後、電池蓋を元に戻してください。



先に爪部を挿入して
電池蓋を元に戻してください。

8M6 946 005

取扱説明書

- お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- ご使用前に必ずこの説明書をお読みのうえ、正しくお使いください。
- その後いつでもご覧になれる所に必ず保管してください。

安全上のご注意

⚠警告

禁止
- **住宅分電盤のカバーを開けない。**
  ～感電する場合があります～
- **電池は幼児や子供が触れるおそれのある場所には保管しない。**
  ～万一、飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください～

⚠注意

必ず守る
- **点検・修理は施工店へ依頼する。（この説明書を提示する）**
  ～不良工事は感電や火災の原因になります～

禁止
- **電池はショートしたり、充電・分解・変形・加熱・火に入れるなどしない。**
  ～破裂によるケガやヤケドの原因になります～

本商品の環境対応について

本商品の環境対応につきましては下記のとおりとなっております。

〈本商品の環境対応の考え方〉
RoHS指令に基づいて　パナソニックグループで製造・販売する商品には下記6種類の環境有害物質を使用しないようにしています。

【RoSH指令　禁止6物質】
1）カドミウムおよびその化合物　2）鉛およびその化合物
3）六価クロム化合物　4）水銀およびその化合物
5）特定臭素系難燃剤(PBB)　6）特定臭素系難燃剤(PBDE)

本商品も上記に基づき、製造・販売をおこなっておりますが、搭載する部材・機器について下記理由により、一部適用除外されているものがあります。

適用除外されている対象商品：
1.法規、規程などで、部品の材質を独自で変更不可能な部材・機器
2.お客様ご指定の部材・機器
　または、お客様ご指定の仕様を満足するために必要な部材・機器
3.機器の性能を維持するために、代替技術が確立されていない部材・機器
4.業界の標準的な部材などで代替・調達の目処がつかない部材・機器

個々の商品の具体的な適用・適用除外についてはお問合わせ頂きます様お願い申し上げます。

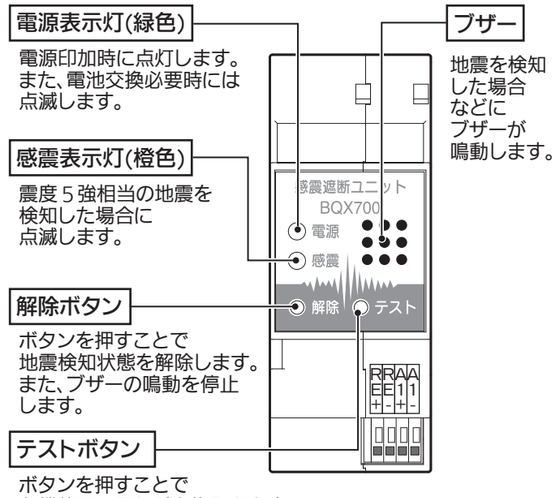
今後とも、お客様に安心してお使い頂ける商品をお届けすべく精進して参ります。　変わらぬご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

特長と使用上のご注意

特長
- 震度５強を超える地震を検知した場合、感震表示灯の点滅とブザーの鳴動でお知らせします。
- 地震発生から３分後に主幹漏電ブレーカを自動的に遮断します。また、３分以内に停電が発生した場合は、復電による避難中の電気火災発生を未然に防ぐため、復電と同時に主幹漏電ブレーカを遮断します。

使用上のご注意
- 地震未発生時にブザーが鳴動した場合(ピピッ、ピピッ音)内部の電池が消耗している可能性があります。解除ボタンを押してブザーを停止してください。その後もブザーが鳴動する場合はすみやかに施工店へ電池の交換を依頼してください。
- 本商品は震度５強相当の地震を検知しますが地震のゆれ方・家屋の構造などにより検知しない場合があります。また、震度５以下の地震でも家屋の構造などにより検知する場合があります。

各部のなまえと機能



住宅盤設置時の見え方

住宅盤設置時は、右図に示すように操作表示部のみ露出しております。

横形住宅分電盤での例

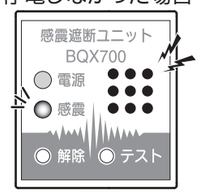
故障かな？と思ったとき

現　　象	原　因　と　処　置
地震でもないのに感震時の動作となる。（感震表示灯点滅・ブザー鳴動）	●感震遮断ユニットおよび住宅盤の取付け状態が５度以上傾いていませんか？傾きがないよう設置してください。 ●感震遮断ユニットの設置方向を確認してください。（本紙裏面、施工説明書の「施工時の設置方向」の項参照）
電源表示灯が点灯しない。	●電流制限器（リミッタ）または主幹漏電ブレーカが切れていませんか？電流制限器または主幹漏電ブレーカのハンドルを入れてください。 ●停電していませんか？近所の家も停電であればしばらくお待ちください。
電源表示灯が点滅し、ブザーが鳴動する。(ピピッ、ピピッ音)	●内部の電池が消耗している可能性があります。解除ボタンを押してブザーを停止してください。その後もブザーが鳴動する場合は施工店に電池の交換を依頼してください。 品番：BQX95 （本紙裏面、施工説明書の「電池の交換方法」の項参照）

※以上のことをお調べになっても、なお異常のある時は施工会社にご連絡ください。

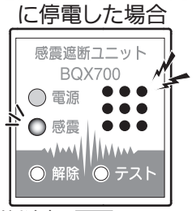
操作のしかた・動作の説明

感震時の動作



地震発生後３分間停電しなかった場合
- ①震度５強相当の地震を検知すると感震表示灯の点滅と、ブザーの鳴動(ピーッ、ピーッ音)でお知らせします。
- ②地震検知から３分後に主幹漏電ブレーカを自動的に遮断します。
  ※２分３０秒後～３分後の間は感震表示灯の点滅、ブザーの鳴動間隔が短くなります。

３分後 → 主幹漏電ブレーカを自動遮断

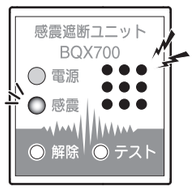


地震発生後３分以内に停電した場合
- ①震度５強相当の地震を検知すると感震表示灯の点滅と、ブザーの鳴動(ピーッ、ピーッ音)でお知らせします。
- ②地震検知から３分以内に停電発生。
- ③復電時に主幹漏電ブレーカを自動的に遮断します。

３分以内 → 停電発生 → 復電時に主幹漏電ブレーカを自動遮断

地震検知から３分以内に主幹漏電ブレーカを手動でOFFした場合、停電した場合と同様に復電時(ON時)に自動遮断します。

感震～解除ボタン押時の動作



- ①震度５強相当の地震を検知すると感震表示灯の点滅と、ブザーの鳴動(ピーッ、ピーッ音)でお知らせします。

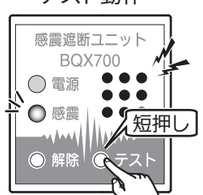
３分以内

- ②ブレーカを自動遮断したくない場合は、地震検知後３分以内に解除ボタンを押してください。
  ※別売のおしらせユニットと接続時は、おしらせユニット側の解除ボタンを押しても同様の動作をします。

待機状態に復帰
- ③感震表示灯は消灯、ブザーは停止し、待機状態に復帰します。

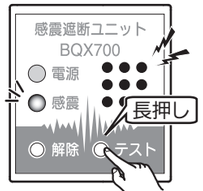
［解除ボタンにより感震状態をリセットした後は通常の待機状態に戻ります。(再度地震が発生した場合、地震を検知～感震表示する状態になります）］

テストボタン押時の動作



感震機能のテスト動作
- ①テストボタンを短押し(約２秒未満)することで、左記感震時の動作の確認ができます。
  - 感震表示灯の点滅
  - ブザーの鳴動(ピーッ、ピーッ音)
  - テストボタン押操作～３分後　主幹漏電ブレーカ自動遮断
  ※テストボタン押操作後３分以内に主幹漏電ブレーカの上位電源をOFFにすることで、３分以内の停電時動作もテストできます。

３分後 → 主幹漏電ブレーカを自動遮断



ブレーカ遮断機能のテスト動作
- ①テストボタンを長押し(約２秒以上)することで、主幹漏電ブレーカの遮断動作が短時間で確認できます。
  ※テストボタンを長押し(約２秒以上)後、すぐに主幹漏電ブレーカが遮断動作します。（テストボタンの長押しの間、ブザー・感震表示灯は動作します）

長押し後すぐ → 主幹漏電ブレーカを自動遮断

仕　様

品　番		BQX700	BQX701
定格電圧		AC 100 V　(50/60 Hz)	
消費電力		1 W以下	
適応相線式		単相３線式（1 φ 3W）	
適応主幹ブレーカ		漏電ブレーカ　高速形　30 mA感度専用	
入出力端子仕様		適用電線 AEまたはCPEV線 φ0.65 配線長 最大20 m	
設置箇所の指定		横型住宅盤 下段側専用	縦型住宅盤 右列側専用
感震動作機能	地震検知	震度５強相当にて地震検知 250 gal 周期0.3 s・0.5 s・0.7 sにて動作 250 gal 周期0.1 s および 80 gal 周期0.3 s・0.5 s・0.7 sにて不動作 ※停電後８秒間は地震検知機能を保持	
	地震検知時の報知機能	感震表示灯(LED)の点滅 ブザーの鳴動(約65 dB)にて報知 ※別売のおしらせユニット接続時には、同ユニットへ音声報知用信号を出力	
	漏電ブレーカの自動遮断・解除機能	●地震検知から３分後に漏電ブレーカを遮断する信号を出力(解除ボタン押操作にて解除可能) ●地震検知から３分以内に停電が発生した場合、復電時漏電ブレーカを２秒以内に遮断する信号を出力	
テスト機能	テストボタン押操作による各動作テスト	●短押し時(約２秒未満)　地震検知時の動作と同一の動作 ●長押し時(約２秒以上)　すぐに漏電ブレーカ遮断信号を出力	